

件名	第1回 各種団体懇談会 _開会・市長あいさつ	頁	1/4
日時	平成21年9月	場所	座間市役所

1. 開会【企画財政部長による開会】

大変忙しい中そしてまたこのような夜分にお集まりいただき誠にありがとうございます。本日皆様方にご案内させていただきましたのは座間市の目指すべき将来像、次期総合計画の策定にあたりまして、今現在ございます第三次総合計画が平成22年度をもって終了するということから次期総合計画、平成23年度からむこう10年間を見据えた座間市の指針を策定するにあたり、今日は各種団体の方々の忌憚の無いご意見を頂きたいということで開催をさせていただきました。なお本日のご意見につきましては、事務局で集約をいたしまして総合計画の中に反映してまいりたいと考えております。

今日は時間の関係で一問一答という形にはなかなかいかない部分があるかとおもいますが、その点につきましてはご了承いただきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

それでは時間の関係もございましてただ今より第四次座間市総合計画策定にあたりましての各種団体の懇談会を開催させていただきたいと思っております。

開催にあたりまして、市の職員の方を紹介させていただきたいと思っております。みなさん向かって中央にいます座間市長の遠藤市長でございます。向かって右側小俣副市長、それからその隣が保健福祉部長の田中でございます。隣が市民部長の清田でございます。それから私の隣ですが教育長の金子教育長でございます。私の右が都市部長の和田でございます。そして本日司会させていただきます企画財政部長の宮代と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは順次プログラムに従いまして進めさせていただきたいと思っております。それでは座間市長のほうから挨拶を申し上げます。よろしく願いいたします。

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

みなさんこんばんは。7時からということで本当にお疲れのところお集まりをいただき、お時間を頂戴するという大変厚かましいお願いにお応えいただき厚く御礼申し上げたいと思っております。ただ今企画財政部長より話がございましたように平成23年の4月から施行予定ということで（仮称）第四次座間市総合計画というものの策定を進めていくとそういった時期になってまいったということでございます。

現在、私共は、第三次総合計画これは前期後期併せて20年、前期計画10年、後期計画10年ということで、この計画に基づきまして市政の計画的な施行運用・運営というのがなされているわけでございますけれども1年半後の平成23年3月をもってこの計画が終了するわけでございます。その後このまちをどういうふうにもっていくのか、どのようにまちづくりを進めていくのかということについて、広く市民のみなさんのご意見というものを拝聴しながら、できる限りそれを集約して織り込んでその取り組みを進めてまいりたいとこういうことからこうした懇談会を企画させていただいておるわけでございます。ということでございまして、本当に忌憚の無いそれぞれのお立場でのご意見というものを

件名	第1回 各種団体懇談会 _開会・市長あいさつ	頁	2/4
日時	平成21年9月	場所	座間市役所

是非とも拝聴してまいりたいとこのように思うわけでございます。

それに先立ちましてのご挨拶ということでございますがもうみなさんご存知の通り今、日本の社会というものは過去に例がない変革の時を迎えておるわけでございます。座間市においてもそうです。人口の増加というものが止まり、これが減少に向かっている。これは、かつて平常時には経験のしたことがない状況でございます、一方においてこれも日々刻々進んでいるのが高齢化の進行でもあるわけです。

そうした大きな流れがある中で、第三次座間市総合計画を組んだ際にも、おそらく平成の初期にこれから市政の発展と進展を右肩上がりというものを1つの前提にしながら計画の策定がなされ、それについて遂行してきたというふうに私も過去を検証しておるわけでございますけれども、これからその右肩上がりと言うものは一切ありません。

そうした中であるものを活かしながら、お互い助け合いながらこのまちづくりを進めていくことができるのかが、大きなテーマになっていると私は思っておるわけでございます。

そうした点で過去を振り返ってみますと、この第三次座間市総合計画の策定がなされてからこの約18年間、当初の10年間というのはこの建物、市役所の建物、文化会館等含めまして大きな意味で考えますと座間のまちにおいてインフラストラクチャー、市の核づくり、さらには谷戸山公園の整備、それから下水道の面整備といった都市基盤の整備というものがなされてきた経過がございます。

そしてこの第三次総合計画の後半の10年間というものはそこにおいて投下をした資本、これについての返済があるわけでございまして、いうなれば我慢の10年間といったようにイメージもあるわけでございます。これは市民の皆さまも等しく実感をしておるところではないかと思えます。

この間に座間市の人口については12万8千人前後ということで、特にここ数年間は推移をしておりまして、その中で、先ほど申し上げたような高齢化が進んでいる、具体的に申し上げますと平成21年の9月1日現在におきまして、私ども座間市においては23,795人という65歳以上の方たちがおられましてこれが、お手元にお渡ししている資料に正確な数字があるかと思えますけれども人口に対して18.3%の比率を占めるまでになっております。これが実は平成2年の現計画の策定当時、高齢化率は6.6%という数字だったというわけでございまして約3倍になっております。これがこれから昨年と今年の比較においても約1,300人増加、これから毎年2,000人ぐらいつつ65歳以上の人口が増えてきます。こうしたような状況が目の前に迫っております。10年という期間を考えてみるときに、では10年前はどうだったのかというふうに今振り返ってみますと小渕内閣が1997年に成立をして、貸し渋りかして貸しとって金融危機といわれて大変な不景気になったわけです。その当時これから先一体どうなるんだろうという不安感に苛まれていたのを思い出されると思います。それからほどなくして、小泉政権の登場というのがあって5年間こういうふうにせよ、いわゆる小泉改革と言われている国政におけるの改革がなされたわけでございまして、こうした一連の流れの中において私どもが抱いた不安感、危機感これからどうなるんだろうといったようなものが今回の国政選挙におい

件名	第1回 各種団体懇談会 _開会・市長あいさつ	頁	3/4
日時	平成21年9月	場所	座間市役所

でも象徴的に出たのではないかと考えております。

まさにこういう環境下において、これから先のことを考えていかなければならない。特に、今日お集まりのみなさんにおかれては地域において生活環境の関係ですとか産業・労働の関係ですとかそういった分野で色々のご指導、ご助力、ご協力に預かっているみなさんであるわけでございまして、これから抱えていくこの課題についていちばん敏感に、そして身近に感じていただいているみなさんじゃないかと思えます。

ではこれから10年間取り巻く状況、特に財政の関係これは全く予断を許さない、ここ数年間の流れをみておりましたも特に大きくみなさんに関わっていつている扶助費の関係というのは、毎年毎年増大をきたしておるわけでございますし、この傾向というものは続くことはあっても減ることはない。そしてこれもやはりお互いに安心安全なまちとして、終の棲家として暮らしていくためにはこの安心感というものを、いかにきちんと担保していくかという大切な課題であるところでございまして、これは第一義的に考えていかなければならない。一方において必要最低限の都市基盤整備というものもなされていかなければならない。このあたりのバランスをどうやってとっていくのかということのも重要な課題となっていると思われま。

その様な中で、今回の総合計画については先ほど申し上げましたように第三次座間市総合計画については20年間という長期にわたったわけでございますけれど、今回は10年間、それもローリングすなわち見直しの期間を短く取らせていただいて、日々刻々、時事刻々変貌していく社会のありよう、我々のコミュニティのありようというものをきちんと捉えながら、その現状に即した形でフレキシブルにこれを変えていくということが可能なような取り組みを考えさせていただいております。

いずれにしても、よく言われます私共のほうでも申し上げております協働のまちづくり、すなわち行政、そしてそこに住まわれる市民のみなさんとお互いの意思疎通をきちんと図りながら、共に力を携えあつてこのまちづくりに取り組んでいく、そして安全安心、そして終の棲家として住み続けることが出来るようなまちに成していく、こういう取り組みが必要となるわけでございまして、今回の計画策定にあたっては過去にも増してそういった面から市民のみなさんの率直な意見を伺いたいということになっております。

今日は、この計画策定にあたって最終的なとりまとめをしていただくコンサルタントの会社のみなさんに同席をさせていただいておりますけれども、過去に辿ってまいりますとコンサルタントの会社の皆さんにアウトラインというか、大まかなところを組んでいただいてそこに肉を付けるといったような総合計画の策定の手法もあつたように聞いております。

しかし、それはもう許されないわけでございまして、あくまでも私ども自身が自分たちのまちをどのようにするかということをしきりと、やはり私たちの目線で市民の目線で捉えながらこの取り組みをしていくこれがどうしても必要であるわけでございまして、そのために今日は様々なご意見を拝聴してまいりたいと思っております。

この現在おかれている私共の座間市、どのような状況にあるかということについては、今日お手元にこの総合計画策定に向けての趣旨、枠組みといったところ、総論の部分、全

件名	第1回 各種団体懇談会 _開会・市長あいさつ		頁	4/4
日時	平成21年9月	場所	座間市役所	

体で7ページにわたった資料をお配りしてあると思いますけれども、この中に非常にコンパクトに、概要についてまとめさせていただいております。これはお目通しいただきまして、今日だけではなく地域別の懇談会も改めて機会を設けさせていただくわけでご覧いただき、そうした中でも、今日の議論を含めて反芻をしていただきながら、またさらに皆様のご意見を拝聴できればというふうに思うわけでご覧いただけます。

ともかく私どもにとっても経験がしたことがないような環境の変化というものが出てくるわけでご覧いただき、そのあたりを十分に認識しながら取り組んでまいりたいと思うわけでご覧いただけます。どうか今日はこれから21時までということでご覧いただけますけれども、率直な意見交換をお願いいたしまして、長々やってもしょうがないので意見交換の方が大事だと思っておりますので、ここまでが冒頭の私のご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。